10001 日本機械学会関東支部講演会原稿雛形（14 points）

A Template for Manuscript Preparation (12 points)

○学　山田 太郎（機械大）　　◎正　山口 次郎（工学大）（10 points）

Taro YAMADA, Kikai University, Shinanomachi 35, Shinjuku-ku, Tokyo

Jiro YAMAGUCHI, Kougaku University, Marunouchi 25, Chiyoda-ku, Tokyo (10 points)

*Key Words*: Alpha, Beta, Gamma, Delta, Epsilon

1. 緒言

　足立らによると，こうである (1)．その一方， Satoらは，ああいう報告をしている (2)．本文．（9 points）

2. 実験方法

2.1 ある試料の作成

　邦題の左側に，プログラムに記載されている講演番号を記入してください．

2.2 あの物性値の測定

　本文．

2.3 その物性値の測定

　本文．

2.4 この物性値の測定

　本文．

3. 結果

3.1 ある処理をほどこした試料の観察

　図1は日本機械学会のロゴマークである．

3.2 あの特性の評価

　本文．

3.3 その特性の評価

　本文．

3.4 この特性の評価

　本文．

4. 考察

　本文．

参考文献

1. 足立 三郎ら, 日本機械学会論文集A編, **70**-341(2014), 1163.
2. Sato, S. et al., Transactions of the ASME, 100(1978), 450.



Fig. 1. JSME logo